

子どもの予防接種のご案内

● 定期予防接種予定表 ●

法律に定められた予防接種(定期の予防接種)は、それぞれの接種時期に個別通知を行います。対象年齢内であれば無料(公費負担)で受けられます。接種の際は、必ず母子健康手帳を持っていきましょう。

予防接種の種類(回数)		通知時期の目安	対象年齢	接種場所
ロタウイルス感染症	ロタリックス:2回 ロタテック:3回	生後2か月になる前	ロタリックス:生後6週から24週 ロタテック:生後6週から32週	市内指定医療機関(9ページ)で通年実施 ※ただし、BCGにつきましては、保健センターでの集団接種になります。詳しくは5ページの「●BCG集団接種日程表●」をご覧ください。
小児の肺炎球菌感染症	※1		生後2か月から5歳に至るまでの間	
B型肝炎	3回		1歳に至るまでの間	
五種混合(DPT-IPV-Hib)※2	初回接種(3回)		生後2か月から7歳6か月に至るまでの間	
	追加接種(1回)			
BCG(結核)	1回	1歳に至るまでの間		
麻しん風しん(MR)	第1期	1歳になる前 (1歳児歯科健診の案内に同封)	1歳から2歳に至るまでの間	
	第2期	4月上旬	H30.4.2~H31.4.1生まれの方 小学校入学前の1年間(R6.4.1~R7.3.31)に実施。	
水痘	1回	1歳になる前 (1歳児歯科健診の案内に同封)	1歳から3歳に至るまでの間	
	2回			
日本脳炎※3	第1期初回(2回)	3歳になる前 (3歳児健診の案内に同封)	生後6か月から7歳6か月に至るまでの間	
	第1期追加	4歳になる前		
	第2期	9歳になる前	9歳以上13歳未満	
二種混合(DT)	第2期	11歳になる前	11歳以上13歳未満	
ヒトパピローウイルス感染症(HPV)	※1	新中学1年生(4月上旬)	小6から高1相当の年齢の女子	
Hib感染症	※1	令和6年4月より五種混合ワクチンでの接種が基本となりますが、四種混合、Hib感染症のワクチンで接種を開始している場合は、引き続き、同一ワクチンでの接種となります。	生後2か月から5歳に至るまでの間	
四種混合(DPT-IPV)※4	初回接種(3回)	令和6年4月より五種混合ワクチンでの接種が基本となりますが、四種混合、Hib感染症のワクチンで接種を開始している場合は、引き続き、同一ワクチンでの接種となります。	生後2か月から7歳6か月に至るまでの間	
	追加接種(1回)			

※1 回数は、接種開始年齢によって異なります。詳しくは、小冊子「予防接種と子どもの健康」をご参照ください。

※2 市では「ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎(ポリオ)及び破傷風、Hib感染症の予防接種」のことを「五種混合予防接種」と呼びます。

※3 【日本脳炎の特例】

下記に該当の方は、特例として日本脳炎予防接種の不足回数を受けることができます。当面の間の措置なのでお早めに受けてください。(なお、平成18年4月2日~平成19年4月1日生まれの方には第2期の勧奨通知をします。)

・平成7年4月2日~平成19年4月1日生まれで、**20歳未満の方**

※4 市では「ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎(ポリオ)及び破傷風」のことを「四種混合予防接種」と呼びます。

● BCG集団接種日程表 ●

BCG予防接種は、生後1歳を超えると公費では受けられなくなります。集団接種の日程で生後1歳までに受けられない場合は、保健センターにご相談ください。

	会場	実施日		備考
BCG	保健センター	4月15日(月)	10月21日(月)	[受付]10:00~11:00(時間厳守) ※事前予約不要 [持ち物]母子健康手帳、BCG予診票、 バスタオル(子供寝かせ用) ※母子健康手帳がないと接種できません。必ず持参してください。
		6月17日(月)	12月2日(月)	
		7月22日(月)	令和7年1月27日(月)	
		9月2日(月)	令和7年3月3日(月)	

※ 生後5か月から8か月に達するまでが接種時期の目安(標準的な接種期間)となります。

※ 集団予防接種時は来場者が大変集中するため、車での来場はご遠慮ください。満車の場合は駐車できませんのでご了承ください。なるべく、徒歩または公共交通機関にて来場してください。

◆ 転入等で予診票がない方は、必ず母子健康手帳を持参のうえ保健センターへお越しください。接種歴などを確認のうえ予診票をお渡します。

◆ 市内医療機関の他に八王子市、町田市、日野市及び多摩市の指定医療機関で子どもの定期予防接種が受けられます。各4市の指定医療機関につきましては、稲城市ホームページをご覧ください。

また、八王子市、町田市、日野市及び多摩市の指定医療機関で接種を受ける場合は、同封されている稲城市の予診票ではなく、各医療機関で予診票を受け取って使用してください。

予防接種を受ける際は、母子健康手帳や予診票を忘れずに持って行ってね。



© K.Okawara・Jet Inoue